

各 位

上場会社名 エムケー精工株式会社
 代表者 代表取締役社長 丸山 将一
 (JASDAQ・コード 5906)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 小林 文彦
 (TEL 026-272-0601)

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と 実績値との差異に関するお知らせ

平成 24 年 5 月 2 日に公表しました平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 24 年 3 月 21 日～平成 24 年 9 月 20 日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異 （平成 24 年 3 月 21 日～平成 24 年 9 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,800	400	350	330	22.76
今回実績値 (B)	8,877	626	605	467	32.23
増減額 (B - A)	77	226	255	137	
増減率 (%)	0.9	56.6	73.0	41.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	8,786	381	346	324	22.40

2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間は、設備投資に改善傾向が見られるなど一部明るい兆しはあるものの、個人消費の低迷や海外メーカーの台頭及び競合他社との価格競争激化により、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続きました。

このような状況下、売上高については、生活機器事業におきまして国内外メーカーとの価格競争激化により計画を下回ったものの、主力のオート機器事業におきまして、昨年度に引き続き門型洗車機の買い替え需要が好調を維持し、また積極的な提案型営業により新規顧客開拓に努めました結果、全体としては当初予想を若干上回りました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、海外部材調達の推進や V E 活動によるコストダウンの強化及び経費削減、さらに、グループを挙げて取り組んでまいりました採算管理の徹底が奏功し、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに当初予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、今後の経済情勢や市場動向に先行き不透明な要素が多いことから、平成 24 年 5 月 2 日付「平成 24 年 3 月期決算短信」で公表しました当初予想は変更しておりません。

※上記の業績予想の数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上